

# 都市マス策定市民委員会ニュース

袖ヶ浦市都市計画マスタープラン策定に関する情報をお届けします！



## 第4回都市計画マスタープラン策定市民委員会を開催！！

～道路・交通のあり方／安全・安心なまちづくりについて様々な意見をいただきました～

市内の道路・交通のあり方や安全・安心なまちづくりについて様々な意見をいただくため、第4回都市計画マスタープラン策定市民委員会を2月22日に市役所にて開催しました。今回も各班に分かれて意見を出し合い、取りまとめをするという、ワークショップ形式で委員会を開催しました。

グループワークでは、テーマごとに委員の皆さんから多くの意見を自由に書き出してもらいました。

まず、道路・交通のあり方については、渋滞対策や歩道のない道路、幅員が狭い道路に対する対策などを求める意見、公共交通の更なる利便性の向上に対する意見などが多く出ていました。専門家である小早川副委員長からは幅員が不十分な路線への大型車の混在に対する対応策や防災施策と関連させた狭あい道路の解消策など、専門的見地から助言をいただきました。

また、安全・安心なまちづくりについては、地震や大雨などが近年発生していることから関心が非常に高く、地域コミュニティの重要性や上下水道の適切な維持管理、河川整備、建築物の耐震化などを行うべきとの意見が多く出ていました。

グループワーク後には、意見の分類・整理をし、取りまとめや特に議論となった点などを班ごとに発表していただき、鎌田委員長に最終的なまとめをしていただきました。

今回いただいた意見を基に全体構想案の策定を進めていきます。

◎ワークショップの様子

グループ①



グループ②



意見を出し合い解決策を考えます



出た意見をまとめます



グループ毎に意見発表

グループワークも3回目ということで、委員の皆さんは馴れた様子で多くの意見を出し合っていました。

本委員会も予定では残すところ、あと3回です。限られた時間の中ですが、委員の皆さんの意見を基に次期都市計画マスタープランの策定を進めていきます。

## ◎ワークショップでの主な意見のご紹介

### 【グループ①の主な意見】

- ・ 横田地区では、国道409号への大型車の侵入が多く危険である。
- ・ 昭和地区や平岡地区では、渋滞が頻繁に発生しており、対策が求められる。
- ・ 路線バスは内陸部の利便性向上のため、時刻表の見直しなども必要である。またバス停へのベンチなどの設置も必要である。
- ・ 路線バスに代わる「平川いきいきサポート」のような仕組みや、地元によるNPO法人の設立などを検討する。
- ・ 広域農道沿いや国道410号沿いなど、日常サービス機能（コンビニ・ドライブインなど）の立地を許容してもよいのでは。
- ・ （仮称）かずさインターチェンジの設置は、周辺の交通環境の保全が必要である。
- ・ 高速バスは利便性が高い。袖ヶ浦バスターミナルだけでなく、拠点や内陸部へのルートの再考もしたほうがよい。
- ・ 自治会への加入者が減ってきていることは課題である。
- ・ 安全安心の避難路として、狭あい道路の対策は必要である。
- ・ 県道袖ヶ浦姉ヶ崎停車場線などは土砂崩れも多く危険である。
- ・ 地域の公民館、集会場なども含めた耐震化が必要である。
- ・ 火葬場の整備については4市共同による運用でよいのでは。



### 【グループ②の主な意見】

- ・ 県道袖ヶ浦木更津中島線などは大型車の混入率が高く、危険であるため歩道整備が必要である。
- ・ 昭和地区における休日の渋滞はひどく、対応が求められる。
- ・ 狭あい道路の対策は通学路などを優先的に行うとよい。
- ・ 路線バスは利用者が少ない状況であり、拠点間を結ぶバスルートが必要である。また、小型のコミュニティバスの復活も検討したほうがよい。
- ・ 国道や県道の未整備区間については国や県へ整備促進の要望をする。
- ・ 自治会の役割は非常に重要で、コミュニティの維持は災害時も役立つため、市は防災についての活動に対して更なる介入があっても良い。
- ・ 大雨の増加に伴い、河川上流部の貯水機能を有する緑化の保全は重要である。
- ・ インフラについては耐震化が進んでいると思うが、今後も計画的に行う必要がある。



【注意】 グループワークでの意見の一部となります。詳細は会議録をご覧ください。

◎とりまとめと次回の都市計画マスタープラン策定市民委員会に向けて

鎌田委員長より

今回のグループワークでは生活者の視点多かった気がします。

道路交通計画の範囲を超えて、移動計画のようなイメージだと感じました。

移動は、人、時間、属性、居住地によっても異なりますし、何の目的で移動するかは、土地利用や移動する先の施設計画にも関係してきます。目的があつての移動というのは、人、場所、曜日、災害時と平常時、休日・平日、昼夜によって全部異なるので、その辺も踏まえて計画への書き方があるとよいなと感じました。

今回はグループごとに違った視点で議論ができたのでよかったと思います。

## 第5回都市計画マスタープラン策定市民委員会！！

～いよいよ全体構想案のとりまとめ～

お知らせ

次回の都市計画マスタープラン策定市民委員会は、6月7日（金）袖ヶ浦役所旧館3階大会議室にて開催を予定しています。

今までのワークショップで頂いた意見を基に、3月に行った地域別懇談会での意見なども踏まえて、全体構想案のとりまとめを行います。

会議の方法は、通常の会議形式となりますが、引き続き地域別構想を策定するにあたって、委員からの地域別の意見なども聞き、年度内の策定に向けて作業を進めていきたいと考えています。



6月7日（金）  
市役所旧館3階大会議室で開催！



問合せ先：袖ヶ浦市役所 都市建設部 都市整備課 都市計画班  
電話：0438-62-3514（直通）